

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 5 日

事務事業名		市女性団体活動補助事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020201000631
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	090601 生涯学習課
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名	
	施策名	02	生涯学習・芸術文化活動の推進					グループ	生涯学習G
	手段名	01	①自主的な活動の支援と学習機会の提供					担当者名	
			財務会計上の位置付け				事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠	桜川市女性団体補助金交付要項						単年度繰返し (平成18年度~)		
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>地域を基盤とする女性の団体活動の充実・発展が重要であることから、学習と市民活動をおして自主的に地域・社会教育活動事業を行うとともに女性の地位向上を図るため、市内居住の女性によって構成された団体の活動に対し支援を行う。</p>	<p>【補助対象団体に対する事務】 6月下旬：補助金交付の手続き（交付申請受理後交付決定及び交付）また、実績報告の受理 ○団体活動に関する市関係機関との連絡調整 ○研修会に伴う市バス使用申請及び同行 【団体の認定に関する事務】 ○実績を積んだ団体による認定申請受理及び審査認定事務</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
補助金交付に関する事務手続き 団体の事業に対する支援・助言 団体の資質向上に関する情報の共有	補助額	千円	0.00	0.00	230.00	230.00	230.00
	女性団体会員数	人	0.00	58.00	58.00	58.00	58.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市内女性	市内女性数 (常住人口：1/3)	人	12,264.00	12,040.00	11,785.00	11,578.00	11,370.00
	認定団体数	団体	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
団体会員の連絡提携・資質向上を図るとともに、団体の活動を推進し、地域社会の向上発展に寄与する	活動件数 (総会資料受領後確認)	件	0.00	14.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	230	
	事業費計 (A)	千円	0	0	230		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
				18 負担金補助及び交付金	230	
				合計	0	合計

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体補助金に関する事務</li> <li>・認定団体の活動に関する支援 (施設使用料、市・教委バス等の減免対応など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体補助金に関する事務</li> <li>・認定団体の活動に関する支援 (施設使用料、市・教委バス等の減免対応など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体補助金に関する事務</li> <li>・認定団体の活動に関する支援 (施設使用料、市・教委バス等の減免対応など)</li> </ul>

事務事業名	市女性団体活動補助事業	事務事業No.	20201000631	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ・平成27年度に桜川市で活動する女性団体活動を支援する目的で2つの団体に補助金を交付することとした。 ・補助金検討委員会で2つの団体補助は不相当と指摘を受け、令和3年度末まで2団体融和に向け仲立ちを継続してきた。 ・管理職における女性登用率の向上等社会的に女性の地位向上が求められている。 ・新たな社会教育活動を担う女性の団体活動が生まれるよう、女性リーダー研修を実施し、新たな団体が設立された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・平成24年度の総会で活動方針の違いから地域女性会は分裂し、平成26年度には新しい女性団体が発足した。しかし、2団体とも活動内容に大きな差異がないため、補助金検討委員会からは、統合して1つの団体として活動するよう促すこと、一本化できない場合は廃止するよう指摘された。 ・令和4年3月の最終協議で両団体とも市からの仲裁を受け入れなかったため、当補助金の対象から除外とし、新たに活動する団体ができたら補助金を交付する方針が市長から示された。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 結びついている ・市の行事やボランティア活動に積極的に参加していることは、生涯学習・芸術文化活動の推進に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 妥当である ・友愛の精神を養い女性自身の充実・発展のために必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・市として活動に補助できる団体は一つとしていることから、認定団体が生まれる下地作りとして研修会を実施し、令和5年度以降新たな団体を認定し、助成することで女性による社会教育活動が活性化できる。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響有 ・女性の教養、生活、地位向上のためには廃止、休止できないが、既存の2団体が一本化できなかったことから新たな自主活動の団体が生まれるようリーダー育成を行った。今後は活動実績に基づき団体活動を促進していく。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・女性団体による社会教育活動を促進することが目的であり、他の事業と統合できない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・補助金のみ予算であるほか、人件費も必要最低限のため削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 公正・公平である ・団体活動は、市補助金のほか会員の会費によって賄われるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和3年度には2つの団体の一本化に向け、各団体代表者と副市長、財政課、生涯学習課が4回の協議を行ったが、一本化できなかった。 令和5年度に新たな団体が設立され、令和6年度に社会教育委員会議、教育委員会を経て補助団体として認められた。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
団体が設立されてまだ日が浅いので、団体の運営に関して補助が必要である。適宜、団体と連絡をとり、男女共同参画社会の実現に寄与できるようにする。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認